



紡ぐ tsumugu

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第9号
令和4年1月11日
校長 荒井 友香

新しい1年の始まりに

国語の授業で、1月を「睦月」と習ったことを覚えていますか。睦月の由来は諸説ありますが、お正月に家族が集まって、仲睦まじく過ごす様子から「睦び月」となり、そこから「睦月」となったという説が有力だそうです。家族や親せき、友人と仲睦まじく過ごせることが当たり前ではなかったと感じることが多い昨年でしたが、今年の正月は帰省した方も多そうです。

新しき年の初めの初春の
今日降る雪のいや重け吉事 (大伴家持)

何となく今年は
よい事あるごとし
元日の朝晴れて風なし (石川啄木)

新しい年を迎えて、今年は良い事がありますようにと願うのは、万葉集の時代から時を超えて変わらない思いです。

年末、3年生の面接練習で、「あなたにとって、石神井西中学校はどんな学校ですか」という質問をしました。「入学した時は厳しいと思ったけど、今は全部大切なことだったと気づいた」「先生が生徒を応援してくれる学校だった」「服装も含めて、自分で考える判断力がついた学校」といった答えを多くもらいました。自分の考えを短い言葉で述べるのはとても難しいことです。それができている本校の3年生を頼もしく感じました。

1月6日に東京としては大雪が降りました。降り積もる雪を眺めながら、今年も本校の良い校風を次世代へと紡ぎ続ける学校であり続けたいと願いました。

今日降る雪のいや重け吉事。すべての人にとって、意義のある一年でありますように。
本年もよろしくお祈りします。

1月の生活目標

一年の目標を立て、新たな決意で2022年をスタートしよう
～何事も全力で取り組む～

1年の目標をたて、新たな気持ちで新年を迎えましょう。改めて挑戦したいことなど、自分なりの目標をもち、毎日の生活を有意義なものにしてください。また、今年度も残り3か月となりました。合唱コンコールの練習も徐々に始まります。最後まで悔いのないよう何事も全力で取り組みましょう。一日一日を大切に、なにげない日常を大切にしよう。

【今月の主な生徒の活動・行事】

- ・始業式
- ・スキー移動教室(2年)
- ・推薦入試開始(3年)



小中連携進めています

「思いやりの空」は、心の温まる言葉を集めたものです。本校生徒会と近隣3小学校の児童会で一緒に「いじめ防止」のマークを考える等の活動を進めています。来校した際には、一つ一つの言葉を読んでいただければ嬉しいです。

新型コロナウイルス感染症に関する現在の取組

- 換気の徹底・加湿の励行を進めています。
 - ・保健委員会を中心として、窓をここまで開けようといった表示をして、換気を徹底しています。また、加湿器を全普通教室に配置し、加湿を行っています。
- 共有部分の消毒の回数を増やしています。
 - ・多くの人が触れる可能性のある共有部分については、用務主事を中心として一日に複数回の消毒作業を行っています。
- 養護教諭から講話を行いました。
 - ・これまでの対応を徹底することの重要性を伝えました。
 - ・不安に思うことがあったら保健室やスクールカウンセラーに相談できます。

【生徒の皆さんへ】以下のチェックリストを参考にしてください。

- 外出時は、マスクで鼻と口をおおっていますか？
- 帰宅時や、食事の前には手を洗っていますか？
- 外出は、混雑している場所や時間を避けるようにしていますか？
- 屋内では、換気をしていますか？
- お菓子やジュースを、友達と回し食べ・回し飲みしていませんか？
- 毎朝検温して、体調を確認していますか？
- 咳エチケットを心がけていますか？
- 具合が悪いときは、外出しないようにしていますか？
- 3つの密（密閉・密集・密接）を避け、ゼロ密を目指していますか？
- 家族以外と食事中、会話するときはマスクをしていますか？



保健委員が各クラスに換気の表示をしています。

SDGs 特集⑦

副校長 小林寿典

12月11日（土）に、ソメイヨシノの植樹が行われました。ご存じの方も多いと思いますが、倒木の恐れのある桜を伐採しました。20年前に勤務していた時も咲いていた花を思い出すと、本校の歴史とともに成長をしてきたといえます。

世界の地表は7割が海、3割が陸地であり、陸地には森林や草原、砂漠など様々な地形からなる生態系が存在しています。それらの生態系は私たちが生活をしていく上で仕事や食料、燃料、医薬品などの全ての供給源として欠かせません。裏を返せば、貧困撲滅や格差削減、包括的社会の発展など、今世界に存在するあらゆる課題は、陸上生態系によって生み出される財とサービスに直結しているとも言えます。国連で2015年に採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」では、目標15として「陸の豊かさを守ろう」を掲げています。これは、持続可能な形での森林管理と劣化した土地の回復と砂漠化対策を成功させて、生物多様性の損失に終止符を打つことを目標としています。そうすることで、天然資源の恩恵を未来に残せると考えています。

学校の端にあった桜ではありましたが、抜根をした後は森林が砂漠に変わったような印象でした。新しい細木も春には少し花を咲かせます。たくさんの緑葉が見られるには、相当な時間がかかることを知っておかなければならないと感じます。

